

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成26年12月18日 (2014.12.18)

【公表番号】特表2014-503191 (P2014-503191A)

【公表日】平成26年2月13日 (2014.2.13)

【年通号数】公開・登録公報2014-008

【出願番号】特願2013-537894 (P2013-537894)

【国際特許分類】

C 1 2 Q 1/37 (2006.01)

C 0 7 K 16/18 (2006.01)

G 0 1 N 33/15 (2006.01)

G 0 1 N 33/50 (2006.01)

G 0 1 N 33/53 (2006.01)

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 P 25/00 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 P 25/16 (2006.01)

A 6 1 P 25/28 (2006.01)

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

C 1 2 P 21/08 (2006.01)

【 F I 】

C 1 2 Q 1/37 Z N A

C 0 7 K 16/18

G 0 1 N 33/15 Z

G 0 1 N 33/50 Z

G 0 1 N 33/53 D

A 6 1 K 45/00

A 6 1 P 25/00

A 6 1 P 43/00 1 1 1

A 6 1 P 25/16

A 6 1 P 25/28

A 6 1 K 37/02

C 1 2 P 21/08

【手続補正書】

【提出日】平成26年10月31日 (2014.10.31)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

I C E 阻害剤を同定するための方法であって、

複数の試験化合物を準備するステップ；

前記複数の試験化合物からの試験化合物を、I C E の存在下で - シヌクレイン全長と接触させるステップ；

および

1 つ若しくは複数の前記試験化合物が、前記 - シヌクレイン全長の I C E 切断を阻害

するかどうか決定するステップを含む、方法。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の方法であって、

- シヌクレイン切断が、 - シヌクレイン全長および切断された - シヌクレインの相対的レベルを測定することにより決定され、

ここで、前記試験化合物の存在下での、切断された - シヌクレインに対する - シヌクレイン全長の、対照と比較してより高い比率は、前記試験化合物が、 - シヌクレインの I C E 切断を阻害する I C E 阻害剤であることを示すことを特徴とする、

方法。

【請求項 3】

請求項 2 に記載の方法であって、

前記 - シヌクレインのフラグメントが、約 120 アミノ酸の長さであることを特徴とする、

方法。

【請求項 4】

請求項 3 に記載の方法であって、

前記 - シヌクレインのフラグメントが、115 アミノ酸の長さであることを特徴とする、

方法。

【請求項 5】

請求項 3 に記載の方法であって、

前記 - シヌクレインのフラグメントが、119 アミノ酸の長さであることを特徴とする、

方法。

【請求項 6】

請求項 3 に記載の方法であって、

前記 - シヌクレインのフラグメントが、121 アミノ酸の長さであることを特徴とする、

方法。

【請求項 7】

請求項 2 に記載の方法であって、

前記 - シヌクレインのフラグメントが、約 20 アミノ酸の長さであることを特徴とする、

方法。

【請求項 8】

- シヌクレイン全長に特異的に結合するが、I C E 切断された - シヌクレインには結合しない、- シヌクレイン抗体。

【請求項 9】

I C E 切断された - シヌクレインに特異的に結合するが、- シヌクレイン全長には結合しない、- シヌクレイン抗体。

【請求項 10】

請求項 8 または 9 に記載の - シヌクレイン抗体であって、

前記抗体が、モノクローナル抗体、ポリクローナル抗体、F a b フラグメント、F a b ' フラグメント、F ( a b ' )<sub>2</sub> フラグメント、F v フラグメント、ダイアボディ、単鎖抗体分子および多重特異性抗体からなる群より選択されることを特徴とする、

- シヌクレイン抗体。

【請求項 11】

- シヌクレイン切断酵素を同定するための方法であって、

- シヌクレイン切断酵素の候補である複数のカスパーゼ酵素を準備するステップ；  
前記複数のカスパーゼ酵素からの候補酵素を - シヌクレイン全長に接触させるステップ；

および

1 つ若しくは複数の前記候補酵素が前記 - シヌクレイン全長をフラグメントに切断するかどうかを決定するステップ

を含む、

方法。

【請求項 1 2】

請求項 1 1 に記載の方法であって、

前記フラグメントは、約 1 2 0 アミノ酸の長さのフラグメントを含むことを特徴とする、  
方法。

【請求項 1 3】

患者におけるシヌクレイン病の疾患、障害または状態を治療するための医薬組成物であって、I C E による - シヌクレインの切断を阻害するのに十分な量の I C E 阻害剤を含む、

医薬組成物。

【請求項 1 4】

請求項 1 3 に記載の医薬組成物であって、

前記シヌクレイン病の疾患、障害または状態が、パーキンソン病、認知症、または多系統萎縮症であることを特徴とする、

医薬組成物。

【請求項 1 5】

請求項 1 4 に記載の医薬組成物であって、

前記パーキンソン病が、常染色体優性のパーキンソン病であることを特徴とする、

医薬組成物。

【請求項 1 6】

請求項 1 4 に記載の医薬組成物であって、

前記シヌクレイン病の疾患、障害または状態が、レビー小体の存在により特徴付けられる、

医薬組成物。